

受 験 番 号					

2026(令和8)年度 大手前大学
一般選抜入試(A日程) 入学試験問題
(1月 25日)
世界史

1. この問題冊子には、次の順に科目（問題）を配列しています。

「世界史」 1 ページ～8 ページ 設問数 30
「日本史」 9 ページ～17ページ 設問数 30

2. **国際日本学部、建築&芸術学部、現代社会学部、経営学部**の受験者は、下記の科目から2科目もしくは3科目を選び解答しなさい。

出題科目	英語 ・ 国語 ・ 数学 ・ 世界史 または 日本史
------	----------------------------

3. 試験時間は、14：00 ～ 15：00 の60分間です。
4. 机の上には、受験票、筆記用具、時計以外のものを置いてはいけません。
5. 解答は、マークシートに記入しなさい。
マークシートの解答は、4つの中から1つを選んでマークしなさい。
6. この問題冊子は、試験終了後持ち帰ってください。

I 次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

中国では歴史を叙述するという行為が古くから行われてきた。たとえば、「春秋」「戦国」という時代のよび方はそれぞれ、『春秋』と『戦国策』という歴史書に由来する。前者は(1)が編纂したとも言われる、春秋時代の魯国の歴史を(2-A)の形でまとめたもの、後者は戦国時代の各国の歴史や遊説の士の策を漢代にまとめたものである。そして中国の歴史書として最も有名と言っても過言でないのが司馬遷の『史記』である。司馬遷は父親が始めた作業を受け継いで、「五帝」とよばれるはるか古代の帝王から、彼が生きていた⁽³⁾ 漢の武帝の時代までの歴史を、(2-B)という体裁でまとめた。これは王朝公認の歴史書とされ、これ以降の歴代王朝についても同様に、王朝公認の歴史書が編纂された。これらをまとめて「正史」とよぶ。ちなみに中国最後の王朝である⁽⁴⁾ 清朝の正史は、次の中華民国の時代に編纂作業が進められたものの、⁽⁵⁾ 相次ぐ政治的混乱や戦乱の影響を受けて完成に至らず、「未完成原稿」の意味を込めて『清史稿』という書名で現在出版されている。また、皇帝の勅命によらずに個人が書いた歴史書もあり、正史に対して野史^{はいし}とか稗史^{はいし}とよばれる。中国の歴史を調べる際に基本となる史料は正史であるが、野史も決して軽視できない。たとえば⁽⁶⁾ 南朝・宋の裴松之^{はいしょうし}は、三国時代の正史である『三国志』に注をつけて様々な情報を補足してくれている。そこで引用される様々な野史のほとんどは現在すでに散逸しており、「裴松之注」と言えば三国時代を研究する上での貴重な史料群となっている。あるいはまた⁽⁷⁾ 東晋^{じょうきん}の常璩^{じょうき}が編纂した『華陽国志』は現在の⁽⁸⁾ 四川省に相当する地域についての歴史書であるが、1986年に四川省の三星堆遺跡から発掘された独特の造形を持つ青銅器について、『華陽国志』の記載内容との関連が指摘されており、正史では分からない事実が野史によって判明することも珍しくない。

1 空欄(1)に入れる人物名として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 老子 ② 墨子 ③ 孟子 ④ 孔子

2 空欄(2-A)・(2-B)に入れる歴史書の形式とその具体例の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① A - 編年体：『資治通鑑』 B - 紀伝体：『漢書』
 ② A - 編年体：『漢書』 B - 紀伝体：『資治通鑑』
 ③ A - 紀伝体：『資治通鑑』 B - 編年体：『漢書』
 ④ A - 紀伝体：『漢書』 B - 編年体：『資治通鑑』

3 下線部(3)の時代に存在していた国として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① パルティア ② プトレマイオス朝エジプト
 ③ クシュ王国 ④ チャンパー

4 下線部 (4) について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① もとは中国の西北部でヌルハチが後金国を建てた。
- ② 第2代のホンタイジが国号を清に改めた。
- ③ 乾隆帝の時代に台湾を領土に組み込んだ。
- ④ 最後の皇帝・宣統帝は清朝の復興を目指して満洲国を建てた。

5 下線部 (5) について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 初代大総統の孫文は独裁権力をふるった。
- ② 袁世凱は皇帝に即位しようとして失敗した。
- ③ 軍閥の張学良は日本軍によって爆殺された。
- ④ 共産党政権の下で日中戦争が始まった。

6 下線部 (6) について述べた次の文 a・b の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。

- a 伝統的な儒教のみならず、仏教と道教も発展した。
 - b 貴族文化が尊ばれ、古今の名文を集めた『文選』が編纂された。
- ① a・b ともに正しい
 - ② a のみ正しい
 - ③ b のみ正しい
 - ④ a・b ともに誤り

7 下線部 (7) の都として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 長安
- ② 洛陽
- ③ 建康
- ④ 成都

8 下線部 (8) に関連して、四川暴動について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 1911年10月に起きた事件である。
- ② 清朝政府が主体となって外国から鉄道利権を回収しようとしていた。
- ③ 清朝が回収した鉄道利権を民営化しようとしたことが原因である。
- ④ この暴動を契機として翌月に辛亥革命が始まった。

Ⅱ 次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

アナトリアは、現在のトルコ共和国のアジア部分にあたる地域である。この地に最初に強力な国家を建てたのは、インド＝ヨーロッパ語族に属するヒッタイト人であった。早くから鉄器を用い、メソポタミアに遠征して（ 9 ）を滅ぼし、シリアに進出してエジプト新王国と争った。ヒッタイト人についてはエジプト第18王朝の王、アメンヘテプ4世（アクエンアテン）の都として知られる（ 10 ）で、19世紀末に発見された文書が重要な史料となっている。その後、前12世紀に「海の民」が地中海東岸やアナトリアに侵入してきたことによりヒッタイトの勢力は衰退した。

前2000年紀の初めに北メソポタミアにおこったアッシリアは、前7世紀にアナトリアの一部を含む全オリエントを征服した。しかしその圧政は各地で反乱を招き、前612年には崩壊した。アッシリアの崩壊後オリエントには4つの勢力が割拠したが、アナトリア西部は（ 11 ）が支配し、世界初の金属貨幣を使用した。

オリエントを再び統一したのは、アケメネス朝であった。アケメネス朝は、アナトリア西岸のギリシア人植民市の反乱を機に勃発した⁽¹²⁾ ペルシア戦争に敗れ、マケドニア王アレクサンドロスの東方遠征によって滅んだ。アレクサンドロスの死後、アナトリアはセレウコス朝が支配したが、のちにローマ領となった。ローマ帝国分裂後は東ローマ帝国（ビザンツ帝国）領であったが、11世紀から⁽¹³⁾ セルジューク朝の進出によりイスラーム化が進んだ。

13世紀末頃北西アナトリアに建国されたオスマン帝国は、ビザンツ帝国を圧迫して領土を広げ、さらにヨーロッパ側にも領土を拡大した。1402年にアナトリアに侵入したティムールに大敗したが、急速に勢力を回復し、1453年コンスタンティノープルを陥落させ、ビザンツ帝国を滅ぼした。以後⁽¹⁴⁾ オスマン帝国はヨーロッパのキリスト教世界と抗争を続けたが、19世紀には衰退し、しだいにヨーロッパ側の領土を縮小させた。第一次世界大戦には同盟国側で参戦して敗戦国となり、スルタン政府は、屈辱的内容のセーヴル条約に調印した。これに対してムスタファ＝ケマルがアンカラに新政府を樹立し、アナトリアに侵攻したギリシア軍を撃退した。ムスタファ＝ケマルは、スルタン政府を倒して新たに（ 15 ）を結び、1923年⁽¹⁶⁾ トルコ共和国の成立を宣言した。

9 空欄（ 9 ）に入れる語として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- | | |
|----------|------------|
| ① ミタンニ王国 | ② バビロン第1王朝 |
| ③ カッシート | ④ イスラエル王国 |

10 空欄（ 10 ）に入れる語として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- | | |
|--------------|------------|
| ① テーベ | ② メンフィス |
| ③ テル＝エル＝アマルナ | ④ アレクサンドリア |

11 空欄（ 11 ）に入れる語として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① リディア ② メディア ③ カルディア ④ パルティア

12 下線部（12）について述べた文として**誤っているもの**を、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① マラトンの戦いでアテネがペルシア軍を撃退した。
② サラミスの海戦でアテネ海軍がペルシア海軍を撃破した。
③ プラタイアイの戦いでアテネとスパルタの連合軍がペルシア軍を破った。
④ ヘシオドスはこの戦争を批判的立場から記述した。

13 下線部（13）について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① シーア派の王朝であった。 ② スルタンからカリフの称号を得た。
③ ウルグ＝ベクが建国した。 ④ 領内各地にマドラサを設立した。

14 下線部（14）について述べた文として**誤っているもの**を、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① ハプスブルク家と結んでフランスと抗争した。
② モハーチの戦いで勝利しハンガリーを奪った。
③ マムルーク朝を滅ぼした。
④ プレヴェザの戦いでキリスト教連合軍を破った。

15 空欄（ 15 ）に入れる語として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① パリ条約 ② サン＝ジェルマン条約
③ ヌイイ条約 ④ ローザンヌ条約

16 下線部（16）について述べた文として**誤っているもの**を、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① カリフ制を廃止した。
② アラビア文字にかえてローマ字を採用した。
③ 女性参政権を認めた。
④ イスラーム暦を採用した。

Ⅲ 次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

1870年代以降、ヨーロッパの主要国やアメリカ合衆国では⁽¹⁷⁾ 第2次産業革命が進展する一方で、ウィーン証券取引所での株の大暴落をきっかけに不況が発生し、回復後も低成長の時期が続いた。こうした状況に対応するために、企業の統合によって⁽¹⁸⁾ 独占資本が形成され、⁽¹⁹⁾ 従来から原料供給地や製品市場とされてきた植民地は、このような巨大な資本の投下先としても重要視されるようになった。この時期に列強が進めた植民地拡大政策を帝国主義と言い、⁽²⁰⁾ 列強は世界各地で分割競争を繰り広げた。以前から海外に進出していたイギリスやフランスに対して、この時期により統一が達成されたドイツは、1890年にヴィルヘルム2世が親政を開始すると、「世界政策」を掲げて積極的な対外政策を展開し、イギリス・フランスとの摩擦を強めた。⁽²¹⁾ ドイツ帝国宰相ビスマルクが均衡を維持していたヨーロッパの国際秩序は、ヴィルヘルム2世の登場で大きく変わり、ドイツ・オーストリア・イタリアの三国同盟諸国と、イギリス・フランス・ロシアの三国協商諸国の二つの陣営に分かれて争うことになった。両陣営の対立はやがてバルカン半島が焦点となり、1914年、バルカン半島に位置する（ 22 ）の州都で起こったオーストリア帝位継承者夫妻暗殺事件を機に、世界を巻き込む⁽²³⁾ 第一次世界大戦が勃発した。

17 下線部（17）について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 蒸気機関を動力源とした。
- ② 重化学工業を中心とした。
- ③ 日本やロシアで最も早く進展した。
- ④ 労働組合がラダイト（機械打ちこわし）運動を起こした。

18 下線部（18）に関連して、スタンダード石油を設立し、石油王とよばれた人物として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① クルップ ② フォード ③ ロックフェラー ④ ローズ

19 下線部（19）に関連して、スペインの植民地になったことのない土地として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① チリ ② コロンビア ③ ペルー ④ ブラジル

20 下線部 (20) に関連して、列強によるアフリカ分割について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① ベルギー王は、スーダンを自らの領地とした。
- ② イタリアは、英仏両国とエチオピアを分割した。
- ③ イギリスは、アフリカ横断政策を取った。
- ④ ドイツは、モロッコをめぐるフランスと争った。

21 下線部 (21) に関連して、ビスマルクの外交について述べた次の文 a～c が年代の古いものから順に正しく配列されているものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。

- a ロシア＝トルコ戦争後の対立を調停して、ベルリン会議を開催した。
- b ロシアと再保障条約を締結した。
- c オーストリア・ロシアと三帝同盟を結成した。

- ① $a \rightarrow b \rightarrow c$ ② $a \rightarrow c \rightarrow b$ ③ $c \rightarrow a \rightarrow b$ ④ $c \rightarrow b \rightarrow a$

22 空欄 (22) に入れる地名として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① ボスニア ② アルザス ③ シュレジエン ④ サヴォイア

23 下線部 (23) に関連して、第一次世界大戦中、イギリスが大戦後の実現を約束したこととして誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① アラブ人が独立国家を設立すること
- ② 中華民国に香港を返還すること
- ③ インド人に自治を認めること
- ④ イタリアが「未回収のイタリア」を獲得すること

Ⅳ 次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

今日「ゲルマン人」と称される人々が、いつごろヨーロッパ大陸に姿を現したのかは、はっきりわかっていない。⁽²⁴⁾ ゲルマン人は決して単一の均質な民族ではなく、大小さまざまな集団（例えば、氏族や部族）からなっており、これらの集団さえ固定したものではなかった。原住地とされるバルト海沿岸地域から中央ヨーロッパへ進出したゲルマン人は、紀元前後にはライン川やドナウ川の流域でローマ人と接触を持つようになった。カエサル（ 25 - A ）やタキトゥスの（ 25 - B ）にゲルマン人についてのまとまった記述が現れるのもこの時期である。

ローマ人はライン川とドナウ川に沿ってリーメスとよばれる防御柵を築いた。これは外敵の侵入を防ぐためのものだが、ゲルマン人は無条件で外敵とみなされたわけではない。確かに3世紀に入ると、ローマ帝国はゴートやフランクなどゲルマン系諸部族の侵攻に悩まされることになる。だが他方で、ローマ人とゲルマン人が交易を行っていたこともよく知られており、ぶどう酒やガラス製品などがローマから輸出され、毛皮や⁽²⁶⁾ 奴隷などがローマへ輸入された。また、ローマ帝国の領内に移住したゲルマン人の集団も存在する。特に⁽²⁷⁾ 3世紀以降、ゲルマン人はローマ軍兵士の貴重な供給源となり、中には司令官クラスにまで出世した者もいた。

4世紀後半にはゲルマン人のローマ帝国領内への侵入は激化していく。加えて、ドン川流域の（ 28 ）人に圧迫された⁽²⁹⁾ 西ゴート人が庇護を求めて帝国領内に流入したことをきっかけに、他のゲルマン諸部族もこれにならい、いわゆる「ゲルマン人の大移動」が起こった。しかし、近年では、この時にドナウ川を渡った人々は数万程度とされ、それ以前の外民族の帝国領内への移動と比べて格段大きな規模ではなかったという見方もなされている。また、同じ時期にローマ軍の要職につくゲルマン人が増加したことも明らかになっている。多様な民族からなるローマ帝国において、異民族という出自は軍人や官吏として登用されることを妨げるものではなかった。だが他方で、ローマ帝国の動揺に伴い、ゲルマン人に対する⁽³⁰⁾ 排他的感情も次第に強まっていったとみられている。

このように、ゲルマン人とローマ人との関係は対立や相違だけでは語れない複雑なものであったと言えよう。

24 下線部（24）について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① ゲルマン社会では、重要な事柄は自由人の成年男女からなる民会によって決定された。
- ② 西ローマ帝国の滅亡のきっかけを作ったのはゲルマン人の傭兵隊長オドアケルである。
- ③ クローヴィスのカトリック改宗まで、ゲルマン人の多くはアリウス派を信仰していた。
- ④ ゲルマン社会の従士制は、のちに中世の封建的主従関係（封建制）のもととなった。

25 空欄（ 25 - A ）・（ 25 - B ）に入れる著作の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① A - 『年代記』 B - 『地理誌』 ② A - 『ガリア戦記』 B - 『ゲルマニア』
 ③ A - 『ガリア戦記』 B - 『地理誌』 ④ A - 『年代記』 B - 『ゲルマニア』

26 下線部（26）に関連して、アメリカ合衆国の奴隷制について述べた次の文 a・b の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。

- a 奴隷制を支持したのは、黒人奴隷を綿花栽培の労働力として必要とした北部諸州である。
 b 合衆国憲法の修正により奴隷制が廃止された後も、黒人に対する差別はなくならなかった。

- ① a・b ともに正しい ② a のみ正しい
 ③ b のみ正しい ④ a・b ともに誤り

27 下線部（27）のローマ皇帝の事績について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① コンスタンティヌス帝がミラノ勅令を發布してキリスト教を公認した。
 ② マルクス＝アウレリウス＝アントニヌス帝が『自省録』を遺した。
 ③ カラカラ帝が帝国内に住む自由人以外の人々にもローマ市民権を認めた。
 ④ ウァレリアヌス帝がササン朝ペルシアのシャープール 1 世の捕虜となった。

28 空欄（ 28 ）に入れる語として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① マジャール ② アヴァール ③ フン ④ スキタイ

29 下線部（29）について述べた次の文 a・b の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。

- a テオドリック王に率いられ、オドアケルを倒した後、イタリア半島に建国した。
 b バルカン半島を南下し、アフリカ北部を経由して、イベリア半島に建国した。

- ① a・b ともに正しい ② a のみ正しい
 ③ b のみ正しい ④ a・b ともに誤り

30 下線部（30）に関連して、異なる民族や人種あるいは移民に対する差別や排斥について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 1920 年代のアメリカ合衆国では、海外からの移民を制限するための法律が制定された。
 ② 21 世紀のヨーロッパでは、移民排斥を唱えるポピュリズム政党は全く支持されていない。
 ③ ヒトラー政権下のドイツでは、ユダヤ人が差別や迫害にさらされ、組織的に虐殺された。
 ④ 独立後の南アフリカ共和国では多数派の黒人を隔離するアパルトヘイト政策が取られた。